

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
18	創価大学	がん看護論	大釜 徳政 看護学部 教授	1	春学期	火	8	9:00~12:15	創価大学	若干名

【到達目標】

1. がん看護に関連する概念を理解し、説明できる。
2. がん看護にともなう倫理的課題を述べることができる。
3. がん看護の基礎知識・技術を述べるができる。
4. 放射線療法、化学療法を受ける者に対する看護について説明できる。
5. 療養生活を送る患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ、施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について説明できる。

【授業の概要】

がんおよび治療による全人的苦痛を抱える者とその家族に対して、保健医療福祉システムとの連携を視野に入れ、患者と家族の生活の安寧と質の向上のための生きる力を引き出すとともに慈愛の看護につながる基礎知識・技術を学ぶ。

具体的には、がん看護に関連する概念を理解し、がん看護にともなう倫理的課題、放射線療法、化学療法などの集学的治療法および緩和ケアを受ける者ががんと共生を促す智慧の看護、療養生活を送る患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ、施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について学修する。

【授業内容】

1. がん看護の特徴-がん看護に関連する概念を理解し、がん看護の基礎知識・技術の知識を深める。
2. がん看護の特徴-がん看護に関連する概念を理解し、がん看護の基礎知識・技術の知識を深める。
3. 放射線療法と看護-主に、放射線療法を受ける者の抱える有害事象に対するアセスメントと看護に焦点をあてる。
4. 化学療法と看護-主に、化学療法を受ける者の抱える有害事象に対するアセスメントと看護に焦点をあてる。
5. がん看護にともなう倫理的課題(がん医療の最前線に存在する諸問題を取り上げ、看護師としてがん患者にどう接するべきか考える契機とする。) 提示する2つの事例なかから一つ選び、看護実践について発表してもらう。
6. がん医療と緩和ケア-緩和ケア認定看護師による講義
7. 療養生活を送るがん患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ
がん医療におけるヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチについて、事前学修をして授業に臨む。
8. がん患者と家族に対する施設-在宅および施設-施設間の移行期支援-施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について、事前学修をして授業に臨む。

【成績評価方法】

定期試験 80%
レポート 20% 第5回の事前レポートを評価する。

【教科書】

【参考書、教材等】

1. がん看護学：系統看護学講座、別巻、小松浩子ら、医学書院、2017、2200円、ISBN978-4-260-02763-2
2. がん看護学：臨床に活かすがん看護の基礎と実践、大西和子・飯野京子、ヌーヴェルヒロカワ、1911、3150円

※ この授業は、4/11（火）が初回です。